

八雲東コミュニティセンターだより

2026年

秋号

2026年9月 発行

【講座のお知らせ】 毎月6日から受付開始！

お申込⇒お電話・HP・ご来館にて TEL.06-6906-6300

9/20（日）

瓦から読み解く守口の歴史

【時 間】 14時～15時半

【対 象】 大人向け

【参加費】 500円



10/25（日）

やぐひがまつりストラックアウト

【時 間】 11時～15時

【対 象】 どなたでも

【参加費】 200円



11/23（月・祝）

モールドールでパスカースを作ろう！

【時 間】 10時～12時

【対 象】 小学生以上

【参加費】 800円



11/24（火）

女性の健康お悩み相談室

【時 間】 10時～11時半

【対 象】 18歳以上の女性向け

【参加費】 無料



文化の秋 センター学芸員のちょこっとコラム

明治の俳人 正岡子規が詠んだ有名な句『柿食えば鐘が鳴るなり法隆寺』
秋の代表的な果物である柿が季語になり「柿」一文字で季節を感じ取ることができます。この句にも出てくる法隆寺は飛鳥時代に創建されました。お寺の建て方に種類があることをご存知でしょうか？寺院の建物配置を伽藍（がらん）といいます。この時代に創建された寺院の伽藍配置を分類し型式化した考古学研究者が石田茂作（いしだ もさく）氏です。写真は石田先生が書かれた書になります。書かれている内容は『山光澄我心』（さんこうわがこころをすましむ）という清代の詩人 夢鱗の詩で雄大な山の美しい景色を見ると、自然と自分の心も清らかに澄み渡っていくという意味です。行楽シーズンの秋、自然に触れ心もリフレッシュできる山々をお出かけの候補に入れてみませんか？



センター学芸員 所有
石田茂作 真筆 『山光澄我心』

お申込は
こちら！



八雲東コミュニティセンター

守口市八雲東町2-50-12